

# デイサービスゆずり葉

令和2年度下半期「運営推進会議」資料

報告日：令和3年3月30日（月）

## ○運営推進会議の目的

地域との連携や運営の透明性を確保するため、事業所が自ら設置するもので、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の「抱え込み」等を防止し、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

※今回の運営推進会議は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時的取り扱いに基づき、文書での運営報告と代えさせていただきます。





## 事業所概要

### 地域密着型デイサービス デイサービスゆずり葉

#### 株式会社ゆずり葉「法人理念」

ゆずり葉は、  
利用者全員が、「この人たち、  
私のことをわかってくれる」  
と、安心して過ごせる施設を目標  
指します。

(事業種別) 地域密着型通所介護

(利用定員) 18名

(サービスの提供時間) 9:00~16:15

(営業日) 月・火・水・木・金・土 (祝日含む)

(営業時間) 8:30~17:30

(加算) 入浴介助加算 個別機能訓練加算Ⅱ

サービス提供体制強化加算Ⅱ

介護職員処遇改善加算Ⅰ

介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ

(職員数)

「常勤職員」

管理者1名 (SW兼務)

生活相談員2名 (介護職員兼務)

看護職員1名 (機能訓練指導員兼務)

「非常勤職員」

看護職員2名 (機能訓練指導員兼務)

介護職員2名

「育児休業中」

介護職員1名

計9名

# 運営推進会議の構成メンバー

下記、運営推進会議資料を送付させていただく皆様

\*利用者様代表（H様） \*ご家族代表（I様）

\*西蔭平地区自治会長兼民生委員（K様）

\*住吉地区地域包括支援センター（W様）

\*住之江在宅介護支援センター（T様）

※別紙アンケート用紙がございます。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

（チームデイサービスゆずり葉）

管理者：徳留尚愛

生活相談員：新穂美樹

生活相談員：日高千恵

看護職員兼機能訓練指導員：小浦久代 極殿清 野田チエ子

介護職員：田中亜希子 原慈未 谷口楓子

議事（報告）内容



## 報告項目

右記の項目に沿って、運営状況の報告を行います。



①利用者数や要介護度等の状況

-----

②サービス提供状況、イベント等の開催状況

-----

③事故やヒヤリハットの件数及び事例

-----

④職員の資質向上に向けた取り組み

-----

⑤利用者の健康管理に係る取り組み

-----

⑥防災の取り組み

-----

⑦地域との連携

-----

⑧今後の展開と自己評価

-----

## 報告項目①

# ①利用者数や要介護度等の状況

(令和3年3月30日時点)

登録者数36名

(地域の利用者：18名 入居の利用者：18名)

(介護度の内訳)

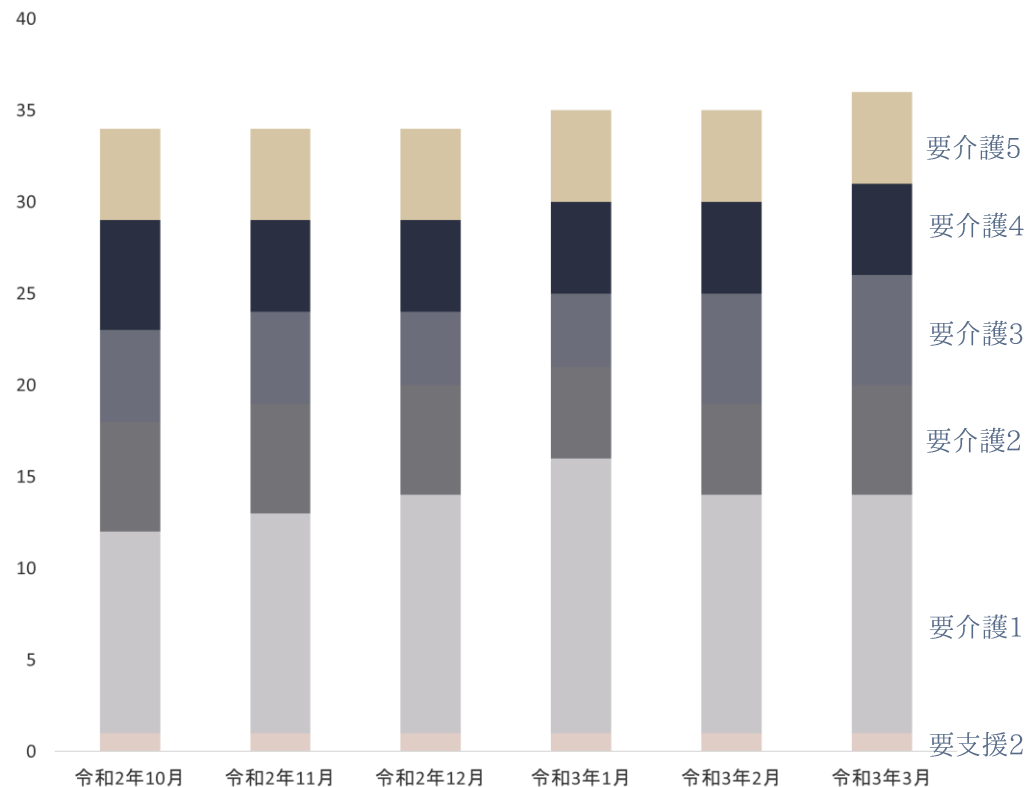
要支援1：0名 要支援2：1名 要介護1：13名

要介護2：6名 要介護3：6名 要介護4：5名

要介護5：5名

(平均介護度：2.45) 要支援2を0.375として計算

令和元年：2.5 平成30年：2.7 平成29年：2.8



# 地域のご利用者の増減について

DAY SERVIS YUZURIHA

新規：3名 中止：1名

下半期に利用中止をされた1名は、ご家族の介護負担が増えるとともに施設への入居を希望。デイサービスゆずり葉に隣接する住宅型有料老人ホームゆずり葉新名爪を含め、複数の施設へ申し込みをされたのち、空き状況のあった施設へ入居となりました。

下半期に利用開始をされた3名のうち、1名はご家族の介護負担の増加がサービス利用開始の大きな理由です。もう1名は独居の方で、様々な面でご自宅での生活が破綻しかけており、デイサービスでの交流や入浴、機能訓練と、ヘルパーを同時に導入して在宅生活を支えるカタチで利用が開始されました。もう1名は閉じこもり傾向にある方で、利用開始前から人と交わることに強い拒否感を示されながらも、ご家族の希望と協力のもとで利用開始をされた方です。3名のうち、1名はご家族の協力でも家から出る事が難しい状態、2名は利用者ご本人もサービスを喜ばれ、ご家族からの希望もあり利用回数が増える結果となりました。

## 報告項目②

# ②サービス提供状況、 イベント等の開催状況

10月：秋の音楽祭、誕生日会

11月：誕生日会

12月：クリスマス会

1月：初詣（新名爪八幡宮）、誕生日会

2月：節分、誕生日会

3月：桜の花見（敷地内）、ひなまつり、誕生日会

※今期も新型コロナウイルス感染対策を最優先に、  
様々なイベントを中止としています。

※別紙、デイサービスの新聞も参考としてくだ  
さい

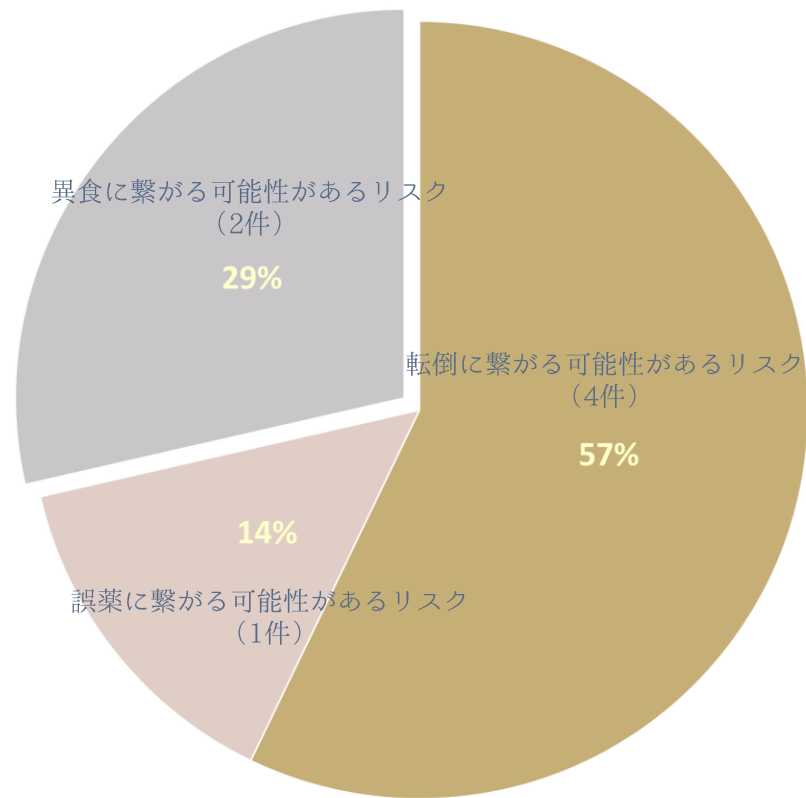


### 報告項目③

## ③事故やヒヤリハットの件数及び事例

事故 0 件 ヒヤリハット 7 件

介護事故は防げるものと防げないものがあります。その中で、今期は介護事故ゼロを達成しました。リスクマネジメント委員会が中心となり、介護事故につながる可能性がある日々のヒヤリハットを収集しています。事故防止の意識をチームが高く持つことは、より多くの情報（ヒヤリハット件数）を上げることに繋がります。しかし、その気づきは日々の業務で流れていきやすいのが実情です。そのような中で情報を上げやすくする取り組みで、これまでより、より多くのヒヤリハットを上げることができています。





# ヒヤリハット事例紹介

DAY SERVIS YUZURIHA

転倒リスク（令和2年12月）

\*経緯～トイレ後のコールが無いためトイレ内を確認すると、下半身が裸の状態でした。便器にズボンを入れようとされていた。

\*要因～重度認知症でありながらも、これまではトイレ後のコールを押すことが出来ていました。お風呂に入るとの認識違いが発生していた可能性があります。歩行時は稀に膝折れがあり、介助として付き添い歩行を行っている方。

\*再発防止策～同意のもとでトイレ内の付き添いを暫く継続。以降は同様の行動は見られていないため、現在は再度コール対応に戻している。

異食リスク（令和3年1月）

\*経緯～昼食後の歯磨きで、ハンドソープを歯磨き粉につけようとしていたところを職員が発見。

\*要因～これまではセッティングされていた歯磨き粉を使用することができていたが、認知機能の低下からその他の面でも介助量の増加が見られていた。

\*再発防止策～セッティング後の動作確認を実施。間違いに備えて適宜声掛け誘導を実施する。現在は歯磨き粉を付けるまでの準備と磨き始めるまでの声かけ誘導と見守りで間違えることなく行えている。

## 報告項目④

# ④職員の資質向上に向けた取り組み

DAY SERVIS YUZURIHA

(年間研修計画)	(定例会議)	(委員会活動)
10月：高齢者虐待	10月：カンファレンス、行事、業務改善、	「向上員会」
11月：キャリア選択	ヒヤリハット、ほめ達人、業務連絡	職員の質やサービスの質等に関して委員会メンバーを中心に話し合いを重ね、現在はコロナ禍でも可能なレクリエーションなどの提案と実行に動いています。
12月：急変対応・AED研修	11月：同上	
1月：介護予防に関する研修 (外部講師：増田様)	12月：同上	
2月：新型コロナウイルス感染症対策 (宮崎市提供)	1月：同上	
3月：セルフケア (外部講師：柏田様)	2月：同上	「リスクマネジメント委員会」
※全ての研修は場所や時間に縛られずにスマホ等で受講できるようにしています。	3月：同上	ゆずり葉を利用される利用者の安全を一番に、高齢者虐待に関する啓発活動等も行っています。来月、ゆずり葉の事故リスクを分析した上での研修会を実施予定です。
	※毎月の定例会議で、一人の職員をピックアップ、その方の良いところなどを褒める、「ほめ達」活動を行っています。	

## ⑤利用者の健康管理に係る取り組み

DAY SERVIS YUZURIHA

### 【脱水予防】

- ・水分摂取量のチェック
- ・湿度・温度管理（送迎時に行なう、利用者様宅の温度管理や提案を含む）

### 【感染症予防】

- ・コロナウイルス等の感染予防対策に合わせた施設基準での運営、面会制限
- ・利用者及び同居家族の健康チェックシートの活用及び職員の体調確認シートの活用
- ・マスク着用、手洗い（都度のタイミングと定時）、正しい手洗いがテーマのレクリエーションの実施
- ・手指消毒、設備消毒、車両消毒、手が触れる場所や器材等の消毒
- ・非接触型体温計やアクリルパネルの使用
- ・日々の服薬確認、管理
- ・入浴毎のボディチェック
- ・送迎時に行う体温測定、身体状況についての情報交換

## 報告項目⑥

# ⑥防災の取り組み

DAY SERVIS YUZURIHA

- ・ 防火設備点検を専門業者に委託
- ・ 年2回の自衛消防訓練（令和元2年11月に実施）
- ・ 土砂災害を想定した防災訓練（令和2年10月に実施）

## 報告項目⑦

# ⑦地域との連携

DAY SERVIS YUZURIHA

（コロナ禍での情報の発信のみ）自治会加入中

- ・ 近隣地域約7500世帯に向けてニュースレターを発行
- ・ HPを活用した活動報告等

## 報告項目⑧

# ⑧今後の展開と自己評価

DAY SERVIS YUZURIHA

(今後の展開)

・コロナ禍の定例ミーティングで、出席者が偏る状態があった。来月よりスマホを用いて、議題に応じた意見を心理的負担も少なく集められるよう会議の方法を修正していく。

・ゆずり葉として、外部講師と連携した新人や職種に応じた育成パッケージを増やし、職員の質の向上に取り組んでいく。

・コロナ禍の状況を見て、地域の会合への出席や移送サービス等の協力体制、健康教室等を再開できるよう準備を進める。

・全ての介護職員が介護福祉士の資格を取得できた。4月よりサービス提供体制強化加算及び介護職員等特定処遇改善加算は最上位の加算に変更する。

(自己評価)

今年度、ゆずり葉は5周年を迎えました。これもひとえに皆様のお力添えと心より感謝申し上げます。コロナ禍への対応では、日常の介護業務自体の手順が増え、また体調等を厳密に管理して利用者や職員もお休みを調整したりと、職員のメンタル面でも疲労が強く、多くを手さぐりで進めた一年でした。この状況下で地域との連携は特に課題として上がりましたが、その中でも、取り組みの結果として地域からの利用者人数が過去最高であったことや、事故ゼロ、サービスの質に各種委員会が動けたことは評価できる部分と考えます。※別紙アンケート用紙がございます。皆様のご意見をお聞かせください。



ご協力ありがとうございました

ゆず  
り葉

(お問い合わせ)

デイサービスゆずり葉 TEL: 0985-86-8212 FAX: 0985-86-8214 担当: 徳留・新穂

